

一連の流れに落とし穴はないか？

M&Aの法的リスク にはこう対応する

- ◆ 第1章 検討から実行後まで
一般的なM&Aの流れをつかむ
- ◆ 第2章 インサイダー取引のリスクに要注意
内部検討段階での留意ポイント
- ◆ 第3章 秘密保持契約、ストラクチャーetc.
初期的交渉段階での留意ポイント
- ◆ 第4章 争いを回避する方策は？
基本合意書締結段階での留意ポイント
- ◆ 第5章 各種情報の取扱いを慎重に
デューデリジェンス実施段階での留意ポイント
- ◆ 第6章 エスクローや表明保証保険の活用も
最終契約の交渉・締結段階での留意ポイント
- ◆ 第7章 重要従業員の処遇にも配慮を
クローリング・PMI段階での留意ポイント

森本 大介(西村あさひ法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士)

昨今、多くの企業が企業戦略としてM&Aを用いることが増え、一連の流れに慣れてきているかもしれない。しかし、M&Aの各段階においては思わぬ法的リスクが隠れており、注意が必要であることを忘れてはならない。そこで本特集では、一般的なM&Aの主要なフェーズごとに情報流出や訴訟提起の可能性などといった法的リスクを回避するためのポイントをまとめてもらった。